



# 柳田 良造 Ryoza Yanagida

岐阜市立女子短期大学 名誉教授  
プラハアソシエイツ株式会社 代表 博士 (工学) 一級建築士

Email : y-ryozo@sea.plala.or.jp  
〒064-0921 札幌市中央区南21条西14丁目1-3  
TEL : 011-512-3630  
URL : http://www17.plala.or.jp/PrahaAssociates/

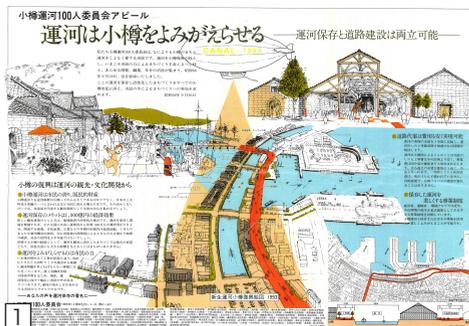
## ■活動のビジョン

「設計ののち」の学部時代であったのが、ひょんなことで小樽に移り住んだことから「小樽運河保存運動」に十年間どっぷりかかり、「都市デザイン」というものを真剣に考えるようになった。事務所を開設し、都市デザイン、景観を仕事とする。しかし三十代後半になり「これが本当にやりたいことだろうか」と悩み、事務所の相棒に大迷惑をかけてヨーロッパ放浪の旅に出る。「建築がやりたい」との思いで戻り、経験もないまま建築設計をスタート、運が良かったとプロジェクトをつくり出すことで仕事が続ぎ、無我夢中の40代を過ごす。50代に入り離婚と事務所の分解を経験、事務所マネージメントが嫌になり、事務所を畳んで個人でできること、大学院時代からの宿題であった学位論文に学術論文も書いたことのない中で取り組む。学位を取得したことで大学のポジションを得て岐阜に移り住み、学生に「建築、環境を愛する」経験を伝えることを仕事にする。

「言葉の力、空間の力」を手がかりに、「人生フルーツ」の「時をためる」環境のデザインを目指している。

## ■自身が関わった活動・作品・現場の概要

- 1 小樽運河保存運動のアピールチラシ  
保存運動の最終局面で市内全国配布のチラシを相棒と制作。道路代案、水辺、プロムナード、倉庫再利用、その後の仕事への思いの出発点。
- 2 あいの里コーポラティブ住宅  
構想から10年かけ札幌郊外に誕生した14戸の戸建コーポラティブ住宅。企画コーディネイトと7戸の設計を担当。
- 3 発寒ひかり保育園  
札幌農学校でクラークの薫陶をうけ内村鑑三、新渡戸稲造らによる札幌独立キリスト教会の保育園。プロポーザルコンペで獲得した設計。
- 4 公益信託函館色彩まちづくり基金  
1993年に生まれた公益信託で、函館西部地区でのペンキ塗り活動を支えた。出発点の研究コンクールから、基金の設計、事務局を担う。2017年、日本建築学会教育賞受賞。



## ■主な経歴

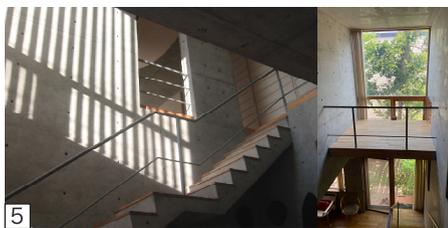
1950年徳島市生まれ  
1975年北海道大学工学部建築工学科卒業  
1981年早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程満期退学  
1983年～2001年(株)柳田石塚建築計画事務所代表  
2001年～2008年プラハアソシエイツ株式会社代表  
2008年岐阜市立女子短期大学生活デザイン学科教授・副学長  
2016年～プラハアソシエイツ株式会社代表  
2016年岐阜市立女子短期大学名誉教授

## ■所属等

都市環境デザイン会議、日本建築学会、日本都市計画学会  
■受賞等  
トヨタ財団研究コンクール最優秀賞  
日本建築学会賞(論文)  
日本建築学会教育賞  
日本建築学会賞(業績)  
不動産協会賞

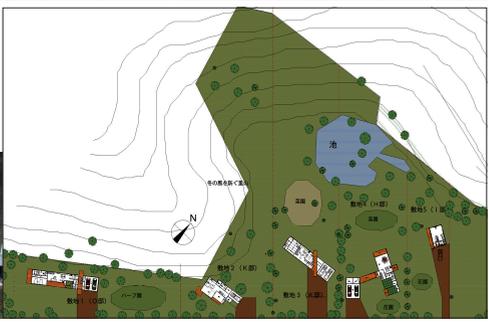
## 5 山鼻コーポラティブハウス

明治初期の札幌本府に隣接する山鼻屯田兵村の一角に位置するコーポラティブ。札幌都心周辺での街区開発のプロトタイプを目指したもの。メゾネット2戸、フラット3戸からなるRC造外断熱構法、3階建タウンハウス。



## 6 当別里山田園住宅

1998年に構想がスタート、20年かけて当別町金沢地区の里山に38戸が実現した里山田園住宅。開発コンセプト、全体構想、第1期5戸の設計を担当。日本建築学会賞(業績)。



## ■おすすめ景観とおすすめ図書

- 7 ローカル線の風景  
中部ブロックの「ローカル線の環境デザイン」は環境、暮らし、食の幸せな風景が溢れていた。
- 8 『北海道開拓の空間計画』柳田良造 北海道大学出版会  
日本建築学会賞(論文)を元にした論考で、明治の北海道開拓を環境デザインの視点から歴史的過程を探り、計画原理を読み解く。
- 9 『色を使って街をとりもどす』柳田良造・森下満 学芸出版社  
函館、ボストン、アイルランド、アルバニアへ、色彩が街とコミュニティをとりもどす活動を追った旅の記録。不動産協会賞受賞。

